

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
渡辺 雅子			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
石原 英樹		明治学院大学 社会学部 社会学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習	MJGa-160804-0	4人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

調査対象地域の選定、関連文献およびインターネットでの情報収集、対象とするアニメに対する知識の披露、そしてそれらを基礎として、聞き取り調査項目の設定を学生が主体的に行った。また、調査対象となったアニメ聖地である埼玉県久喜市鷲宮および茨城県大洗町では、熱心に調査を実施した。聞き取り調査の結果は学生が担当してテープ起こしを行い、データ整理と分析をした。11月に開催された学内学会の研究発表会で発表をし、これをもとに充実した報告書を完成させた。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

アニメ「聖地」とまちおこし

2. 調査の内容／概要：

「らきすた」の「聖地」とされる鷲宮と「ガールズ&パンツァー」の「聖地」である大洗を調査対象とし、アニメをつかってのまちおこしの事例として、先駆的な事例である前者と現在まさにピークを迎えている後者の事例を比較検討することで、いかなる要因がまちおこしを可能にしたのかについて考察する。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

アニメを用いてのまちおこしの事例に多方面からアプローチし、その実態に迫るために、行政的にまちおこしの中心となる地元商工会のほか、まちおこしに深くかかわっている人々、地元商店、アニメファン、神社等から聞き取りを行った。

4. 主な調査項目：

アニメをもちいてのまちおこしに至る経緯・過程、課題とその乗り越え方、回遊性確保の方策、関連グッズの作成、アニメファン（オタク）との関係形成、商店の側からの自発的参加にいたる経緯・過程、関連グッズの作成の工夫、アニメファンとのかかわり。神社に奉納してあるアニメファンによる絵馬（痛絵馬）の内容分析。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

町おこしの主体となっている商工会および関連団体のキーパーソン、商店主、アニメファンからの聞き取り調査。アニメによる町おこしの実態に関する観察、アニメファンの集まる祭りの参加観察。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

埼玉県鷲宮では、6月に調査、9月には祭りの参加観察とインタビュー、12月に補足調査を行った。茨城県大洗町では、8月に調査を行ったほか、11月のあんこう祭りでの参加観察も実施した。調査員の数は履修者全員の4名である。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収率及び回収率を必ず記入）：

地元の商工会、町おこしのキーパーソン、商店、神社、アニメファンから聞き取り調査を実施した。内容としては、対象地域の町おこしに関する多面的な質的データが得られた。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

聞き取り調査によって得られたデータはテープ起こしして、共有した。そして、鷲宮と大洗の分析をするために2人ずつ2つの班にわけて担当地域を分析し、さらにデータをつき合わせ、比較検討した。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

アニメによるまちおこしを成功させた要因として共通していたのは、地元の商工会やキーパーソンの役割とともに、上からのまちおこしではなく、地元の商店とアニメファンを巻き込んでいったことが重要であり、それによってリピーターを獲得した。

10. 報告書刊行の予定と概要：

『社会調査実習報告書 Vol.33』2017年3月発行。